

6月の園風景

早い梅雨入りとなりましたが、梅雨の中休みも多く、夏を思わせるような暑い日が続きます。
そんな時には、裸足になって砂場で遊んだり、さまざまな感触遊びをしたりして、心地よさを味わいながら過ごしています！



トンネルをつなげて水を流そう！



ここ持っていて！



ここも水、流そう！



砂場遊び、楽しいね！



水路をどんどん作っていこう！



水、流れていくよ～



水が冷たくて気持ちいい～♪

始めはそれぞれで遊んでいた子どもたちも、トンネルをつなげたり水路を作っていくうちに、だんだん近くの友達と「こちとつなげる？」など声をかけ合って、力を合わせたり、どうしたら水が流れるか考えを出し合ったりして、協力し合う姿が見られました。こうした姿が、遊びを通して『協同性』※を培っているのだと感じます。

※協同性…文科省・厚労省・内閣府が示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」のうちの一つ。「友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになること」をいいます。



園庭のビワの木から落ちてきた実を使って、色水ジュース作り♡
甘い匂いもしてくるね！



冷蔵庫で冷やした小麦粉粘土は、冷たくて柔らかくて、いつまでも触っていたいくらいの心地よさ♪



保育室ではカエルやオタマジャクシなどの小動物とのふれあいも楽しんでいました☆



季節の植物を遊びに用いたり、さまざまな感触の心地よさを味わったり、この季節ならではの小動物とふれあったり……子どもたちは思い思いの遊びを見つけ楽しんでいました。



クラスで、こんなこともしたよ♪



園庭のビワの実が色づく様子を5月から興味深そうに見ていた、3歳児・ゆめ組の子どもたち。おいしそうなオレンジ色に熟れたビワの実を見たり触ったりしたことをきっかけに、絵の具でビワを描きました



ビワの色の絵の具を筆にたっぷりつけて、くるくる描いていくと……あっという間にビワの実のできあがり♪



ビワの実、いっぱい！！おいしそうでしょ



とっても大きなビワ！！筆を使って絵の具を塗り広げることが楽しかったみたいです♡



4歳児・きぼう組では、にぎやかな音色を響かせながら楽器遊びを楽しむ姿が見られました。今日はカスタネット 今日はすずと、毎日ひとつずつの楽器に触れながら、友達と一緒にリズムや音色を合わせて奏でていました♪



いい音するよ！



カエルのうたに合わせて、叩いてみよう♪



5歳児・ひかり組は、昨年度に植えてから水やりなどのお世話をして育ててきたタマネギやジャガイモの収穫をしました！しっかりと根を張ったタマネギはなかなか抜けず、まるでお話の『大きなカブ』みたいに「うんとこしょ！」と掛け声を上げながら抜いていましたよ。ジャガイモも、土の中から出てくること出てくること……！！さてさて、この野菜たちを一体どうしようかな？



とったぞー！！

